

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	08 防災・防犯 ～災害に強く犯罪のないまち～					
	施策	35 防犯 ー防犯体制を強化し、犯罪のないまちづくりを目指しますー					
重点プロジェクト							
主管課		総務部 危機管理防災課				評価責任者	米村 芳一
関連課		広報広聴課、協働推進課、高齢福祉課、建築課、学校教育課				評価日	令和6年6月1日
目標		犯罪のない安全で安心なまちづくりのために市民一人ひとりの防犯意識の向上を図ります。また、関係機関と連携し、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図り、次世代に継承されていく防犯体制を構築します。					
施策目標の実現に向けた取組		(1) 防犯意識の普及・向上 ○犯罪情勢に応じ、自転車利用者や高齢者など、適時・適切な防犯啓発活動を実施します。 ○不審者に対する児童への防犯教育を行い、防犯意識向上を図ります。 ○重大犯罪発生時における、迅速・的確な情報発信を実施します。 (2) 防犯体制の整備・充実 ○自主防犯団体の活性化を図ることにより、地域ぐるみの防犯体制の確立を目指します。 ○関係機関・団体による児童の見守り強化を支援します。 ○関係機関と連携し、空き家の適正管理と利活用の体制づくりを行います。					

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	刑法犯総数					
		説明	市内の刑法犯罪認知件数。 安全安心なまちづくりの進展状況を見るための指標。※1月～12月の数値					
		単位	件					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	910	900	891	882	872	860
		実績値	935	744	651	650	625	694
	指標2	指標名	街頭犯罪件数					
		説明	市内の刑法犯の内、街頭犯罪（路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらい）件数。安全安心なまちづくりの進展状況を見るための指標。※1月～12月の数値					
		単位	件					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	402	399	397	395	393	390
		実績値	356	290	222	178	185	234
	指標3	指標名	自主防犯団体数					
		説明	自主防犯を行う団体数。 市民への防犯意識の高揚を図る指標となるため。※埼玉県警察が把握する防犯活動団体					
		単位	団体					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	65	66	67	68	69	70
		実績値	74	75	77	77	77	82
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	3,881	4,282	4,391	5,004	5,111	3,884
	人件費	18,216	17,951	18,129	17,883	17,922	17,431
収入	特定財源	436	483	492	623	515	503
	一般財源	21,661	21,750	22,028	22,264	22,518	20,812

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	振り込め詐欺被害防止対策	増加する振り込め詐欺被害を減少させることを目的に、市民に対する手口の周知及び対策機器購入費の補助（対象：65歳以上の市民、補助額：購入金額の2分の1、上限5,000円）を実施した。	・市内協力店舗（12店舗） ・対策機器の購入費補助（154人） ・警察と連携した手口の周知 ・市役所本庁舎での対策機器の体験展示会及び犯罪情報の発信 これらの取組により市民の防犯意識の向上と被害の未然防止が図られた。	防犯推進事業
取組②	防犯講習会及び防犯キャンペーンの実施	市民の防犯意識の高いまちづくりを構築するため、各種防犯講習会や防犯キャンペーンなどの防犯啓発活動を実施した。	・各種講習会（6回、延べ274人） ・地域等に出向いた防犯講話（15回） ・校区内防犯会議（2回） ・防犯キャンペーン（15回） ・親子防犯教室（6回） 各種キャンペーン・講話等の取組により広く市民の防犯意識向上が図られた。	防犯推進事業
取組③	犯罪及び防犯情報などの情報発信	警察と連携し、防犯メールや防災行政無線等を活用した周知の他、青パトによる市内巡回を実施するなど、犯罪及び防犯に関する情報発信を行なった。	・防犯メール発信（延べ80回、市内防犯メール登録者数12,929人※3月末） ・防災行政無線放送（延べ94回） ・青パトによるパトロール（延べ231回、延べ5,064km） タイムリーな情報発信により、市民・地域への注意喚起と犯罪抑止が図られた。	防犯推進事業
取組④	ふじみ野市防犯推進会議の登録団体の拡充	自治組織やPTAなどが中心となる従来の組織に加え、市内の事業所に対して、加盟を呼びかけ、組織の拡充を図った。	・新規登録団体（6団体） 防犯活動団体の拡充により、令和5年度末166団体の登録。市内の防犯体制の強化が図られた。	防犯推進事業
取組⑤				

5. 評価

		評価
指標の達成状況	おおむね順調	令和5年の本市における刑法犯認知件数は、令和4年まで維持していた減少傾向が増加に転じ、前年比69件増の694件となった。中でも、街頭犯罪件数が前年比49件増加し、特に自転車盗の増加が顕著となっている。 このことから、市民に向けた防犯情報の発信、自主防犯団体の拡充等による地域の防犯活動の活性化及び防犯講話、各種講習会等による防犯啓発活動の効果が一定程度認められるものの、自らの安全を自ら守るという市民一人ひとりの防犯意識の更なる向上に向け、引き続き自転車盗対策など、具体的な罪種に対する防犯啓発活動の強化を行う必要があると考えられる。 また、振り込め詐欺被害件数についても、前年比9件増加の32件となった。複雑巧妙化する特殊詐欺被害を減少させるため、高い効果が期待できる対策機器の普及や手口や対策の周知啓発に引き続き取り組むことが求められている。 安全で安心なまちづくりを推進するためには、タイムリーな情報発信による市民一人ひとりのより一層の防犯意識の向上と地域の自主的な防犯活動の充実が必要不可欠である。 そのため、地域・警察・行政の連携を密に、三位一体の防犯活動の強化を図るほか、振り込め詐欺等対策機器の普及啓発やふじみ野市防犯推進会議登録団体の拡充により、さらなる防犯体制の拡充を図っていく。
行政資源の活用	適切	
取組の有効性	有効	
施策の効果	効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		防犯推進事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	08 防災・防犯 ～災害に強く犯罪のないまち～		
	施策	35 防犯 ー防犯体制を強化し、犯罪のないまちづくりを目指しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 12防犯対策費		
所管部課		総務部 危機管理防災課	評価責任者	武井克裕
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		埼玉県防犯のまちづくり推進条例、ふじみ野市防犯推進条例、埼玉県特殊詐欺撲滅条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	本市は犯罪発生率が県内でも高く、犯罪を発生させない地域づくりが課題であり、自主防犯活動団体の支援や地域住民の防犯意識の向上を図り、地域中心の防犯活動の充実に努め犯罪の減少を目指す。		
	事務事業の経緯	平成17年10月に「ふじみ野市防犯推進条例」を制定し、市民・事業者・行政が一体となった防犯意識の高揚や各防犯推進団体と連携を図り、効果的な防犯体制を構築するために各種事業を展開してきた。また、広域での防犯活動や組織の充実を図るため「東入間防犯・暴力排除推進協議会」が平成22年に設立された。		
	事務事業の概要	地域での防犯活動の積極的展開を中心とする防犯意識の高いまちづくりを進めるために、防犯講習会や防犯パトロール講習の継続的な発展を目指すとともに、講習参加者が中心となった地域での新たな組織的防犯活動の創出を促進する。また、振り込め詐欺の被害については、依然として高水準を推移していることから、振り込め詐欺被害防止に向けた広報啓発活動を展開する。		
	令和5年度の主な取組	①振り込め詐欺被害防止啓発用品の配布及び対策機器の普及促進 高齢者世帯に啓発品を配布するほか、対策機器普及に向けた周知啓発と機器購入費の補助を実施する。 ②ふじみ野市防犯推進会議の登録団体の拡充 市内の事業所に対して加盟及び防犯活動を呼びかけ、組織の拡充を図る。 ③自主防犯活動の拡充、次世代への働きかけの促進 青色防犯パトカー市民パトロール隊の防犯活動の周知啓発、地域等に出向いた防犯講話及び各種講習会を通じた「ながら防犯」による防犯活動の充実並びに防犯キャンペーン、官民合同防犯活動の実施、次世代への働きかけなど様々な機会を通じて市民の防犯意識の高揚を図る。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.25	2.20	2.20
		人件費	17,922	17,431	17,431
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計			17,922	17,431	17,431
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		2,362	1,085	1,845
	委託料		0	0	0
	使用料及び賃借料		1	21	1
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		2,516	2,575	2,576
	扶助費		0	0	0
その他事業費※			231	204	290
支出合計			23,032	21,316	22,143
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	515	503	432
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		22,517	20,813	21,711
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			197	182	185

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	刑法犯総数		
	説明	市内の刑法犯罪発生件数。 安全安心なまちづくりの進展状況を見るための指標。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	873	622	611
	実績値	625	694	
指標 2	指標名	街頭犯罪件数		
	説明	市内の街頭犯罪発生件数。 刑法犯罪のうち8罪種（路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらい）。 安全安心なまちづくりの進展状況を見るための指標。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	393	185	185
	実績値	185	234	
指標 3	指標名	自主防犯団体数		
	説明	自主防犯を行う団体数。 市民への防犯意識の高揚を図る指標となるため。 ※埼玉県警察が把握する防犯活動団体		
活動	単位	団体		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	78	79	80
	実績値	77	82	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	①防犯意識の高いまちづくりを推進するため、各種講習会やキャンペーンの開催、官民合同防犯パトロール・子どもの見守り活動、次世代への働きかけ及び犯罪情報や防犯情報等の情報発信を実施した。 ②市民や事業者などで構成されるふじみ野市防犯推進会議の拡充と防犯活動の支援を実施した。 ③振り込め詐欺被害防止を目的とした警察と連携した手口の周知及び防犯体制強化のための振り込め詐欺等対策機器の購入費に対する補助、振り込め詐欺対策機器普及促進のための体験展示会開催、官民合同戸別訪問による啓発及び振り込め詐欺被害防止啓発品の配布を行い、市民の意識の高揚を図った。 【事業効果】 市民一人ひとりの生活環境に合わせた防犯活動の推進やタイムリーな情報発信により、市民の防犯意識の向上が図られたほか、市民青パト隊などの各種団体や事業所などに対する活動支援及び活動団体の拡充により、市内の防犯体制が強化された。また、振り込め詐欺にかかる注意喚起と併せて対策機器購入費補助制度の周知を実施するなど、効果的な取り組みにより、被害抑止が図られた。 【事業実績】 ・青色防犯パトロール講習会（2回、延べ94人）・わんわんパトロール講習会（27人）・ウォーキングパトロール講習会（17人）・防犯推進会議研修会（71人）・防犯講習会（65人） ・市職員による防犯講話、講習会等（15回）・親子防犯教室（幼稚園6か所、延べ475人） ・防犯キャンペーン：15回（東入間警察署と合同：5回、東入間警察署・民間企業等と合同：8回、防犯推進会議加盟団体と合同：1回、東入間警察署・富士見市・三芳町と合同：1回） ・次世代への働きかけ（小中学生保護者、文京学院大学学生、自治組織会員への青パト活動周知、祭りでの車両展示） ・防犯メール配信（延べ80回、市内防犯メール登録者12,929人※3月末） ・ふじみ野市防犯推進会議の拡充（166団体、うち新規加盟6団体） ・特殊対策機器体験展示会（4月17日～21日、92人）、購入費補助（154人補助、合計748,900円） ・振り込め詐欺防止啓発品（電話機用注意喚起フィルム）の配布（65歳以上高齢者）

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	街頭犯罪のほか、振り込め詐欺などの多種多様な犯罪被害がある状況の中、犯罪減少のためには、タイムリーな情報発信と地域の防犯活動が大きな効果をもたらすものであり、必要不可欠である。 また、防犯活動の推進には、行政・市民・事業所等との連携が重要であることから、引き続き情報共有や連絡調整、防犯活動用品の支給支援などにより防犯活動の強化を図る。
中長期的方向性	更に、地域住民による継続的な防犯活動体制を堅持するため、次世代への働きかけを積極的に行い、市民の意識高揚による防犯活動の拡充を実施していく。
拡充	